

Library Mate

〓図書館の機械化、ということ

図書館事務部長 城田 秀雄

コンピュータが企業や官庁、研究所などに採用されはじめたのは昭和30年代の後半からだと言っています。図書館界にも情報化という言葉と共に、コンピュータが導入され情報の収集や利用に供されています。日本語で電子計算機、英語でエレクトロニック・コンピュータといわれるところから、私達はこの機械を計算機として認識してきました。しかし、この機械の本質は計算だけでなく、データの記録、分類などの事務処理機能を持っています。かつてパンチカード・システムが計算処理の役割をしていました。今日ではカード穿孔の部分だけを残して、より広範な機能を有するデータ処理機械へと開発されたのがコンピュータです。

〓図書館の機械化、という言葉が聞かれてからもう久しい。大学図書館でもこれに対応すべく数年前から研究を重ね、機械化委員会がネットワーク化を構想するなどし、これまでに種々の事項で意志を統一してきました。こうして決定された基本的な方針は、将来への効果を考えあわせてのことで、図書館の運営に大きく影響を与えることとなります。この効果は、機械化における達成度を計るものであり、直接的効果と間接的効果に分けられます。直接的効果は経済的効率であって、業務処理時間の短縮、労働量の軽減、予算の節減、人員の適正配置などがあります。間接的効果は社会的、文化的な資質を高めることにあり、いわば管理技術の向上、ユーザーサービスへの多様化、図書館機能の拡大などがあげられます。ところで問題なのは、図書館自体はサービス機関であり生産性を持たない、しかしコンピュータの導入によって求められる

のは直接的効果である。また、この効果は数値によって表わすことができると共に、経営管理上もっとも端的に評価できるからです。もう一つの間接的効果は時間の経過を要するものであり、事業計画の経年によって蓄積されるものです。この場合でもデータ量などは直接的評価の要因をもってはいますが、一般的には間接的効果を数値で査定することは困難ですし、今までこの部分を査定し計測したことはありません。期待される図書館はこの間接的効果の資質の問題であり、コンピュータ導入の基本方針を継続した結果がここに表出されると見るべきでしょう。

〓図書館の機械化、という実態は様々ですが、今ではハード面の整備が要求され、館内にコンピュータや端末装置を保有してこそ〓図書館の機械化、が行なわれていると解されています。大学設置基準もこれらを意図しているものと考えられます。大学図書館の目指す機械化の第一は学内に所蔵する資料の書誌情報作成であり第二は多様な利用に対応できるオンラインによるアクセス・カタログの提供、第三は外部が所有するデータベースファイルとの結合です。また、これらのサービスに入る前に図書館は機械化対象業務を処理しておく必要があります。

機械化にあたって多くの大学図書館を見学しましたが、その規模や予算も様々でした。要は各図書館が何をやるのかに関わるということです。また、図書館が大学の機関として占める位置や学内意識の統一が重要なことだと知らされました。

役者評判記を読んでみませんか

国文学科助教授 佐藤 悟

最近、歌舞伎が若い人の中でブームになっているようです。そのせいか国文学科でも歌舞伎を卒業論文のテーマに選んだり、関心を持つ人が増えてきました。江戸時代の歌舞伎について卒業論文を書きたいという相談がありますと、私は「おやめなさい」ということにしています。歌舞伎は江戸時代に始まる伝統芸能ですが、現代の歌舞伎がその伝統を完全に引き継いだものかといいますと、答えはノーです。江戸の歌舞伎は明治三十六年の五代目尾上菊五郎の死によって終焉し、現在の歌舞伎はその後の六代目尾上菊五郎の系譜を引くもので、両者の間には大きな断絶があります。現在の歌舞伎を見た感覚で、江戸の歌舞伎の研究を始めると、とまどうことが多いと思います。その結果、こんな筈ではなかったということになります。

江戸時代の歌舞伎の一番重要な要素は役者でした。観客の関心はおくに歌舞伎以来、戯曲ではなく役者に集中していました。そのため役者についての評判を記した書物が出版されました。それが役者評判記です。初期の役者評判記の記述は役者の容色が主眼となっていました、やがて芸評が記されるようになりました。この役者評判記は毎年出版され、歌舞伎研究にとって基本的な資料となっています。現在明和九年(1772)までの分が『歌舞伎評判記集成』第一期・第二期に活字化されていますので、図書館で簡単に読むことができます(でも勉強しないとわからないよ)。しかし鶴屋南北や河竹黙阿弥の研究や写楽の浮世絵に描かれた役者の研究に必要な時期の評判記はまだ活字になっていません。図書館には評判記の原本(当然のことながら変体仮名で印刷されています)が約百八十点所蔵され、活字になっていないところの八・九割が揃っていますから、評判記について、私たちはとても恵まれた環境にいるわけです(番付その他の演劇資料はほかにもたくさんあるよ)。

役者評判記からどのようなことがわかるのでしょうか。五代目松本幸四郎が文化十二年(1815)九月の江戸河原崎座と文化十三年七月江戸の中村座で上演された『仮名手本忠臣蔵』五段目で

演じた定九郎についての評判がそれぞれ翌年の評判記に残っています。

三役定九郎いなむらより出る新手与市兵衛をころし財布をとらんとゆびをくひ切血をはき給ふかほを見て女中や子共は目をふさぎおそろしいと申升た(文化十三年『役者謎懸論』)

二やく定九郎与市兵衛をなぶりごろしさいふはなさんゆへゆびを一本づゝ口にてくひきり給ふは見物もこはいこはいといひました(文化十四年『役者名物合』)

定九郎が与市兵衛を殺して財布を奪う場面ですが、財布を握りしめて離さない与市兵衛の指を一本づつ喰い切る(刀を使えば楽なのにね)という演出がおこなわれていたことがわかります。この場面の定九郎は口から血を垂らしながら時間をかけて演じられたに違いありません。その凄惨な舞台を女性や子供は見ていられなかったというのです。同じ演出が二年続けて行なわれたところを見ると好評だったのでしょうか。この凄惨な演出で連想されるのが『東海道四谷怪談』で知られる鶴屋南北の存在です。南北は文化十二年には江戸市村座、文化十三年には河原崎座に作者としていますから、この演出とは関係ありません。グロテスクな舞台は時代を反映したものだったのです。

もう一つ注目されるのが定九郎が稲叢いなむらから登場する演出を「新手」といっていることです。これは現在も行なわれている演出です。最初の演出は花道から与市兵衛を追いかけて登場するというものでした。

定九郎が稲叢から登場する演出は四代目市川団蔵から始まるとされています。団蔵は定九郎と与市兵衛を早替りで演じました。与市兵衛を稲叢に引きずり込んで殺し、稲叢から定九郎として登場するという方法をとりましたので、稲叢が重要な舞台装置となったのです。定九郎と与市兵衛を早替りで見せる演出は安永十年

(1781) に江戸森田座で団蔵が演じたのが最初でした。忠臣蔵七役として知られているものです。団蔵は天明八年(1788)三月に伊勢古市芝居、夏に泉州堺、秋に京嵐七三郎芝居で、寛政元年(1789)十二月に大坂中山福蔵座、寛政七年四月に京亀谷座で、八月から大坂坂東岩五郎座でこの早替りを演じています。団蔵は享和元年(1801)二月の中村座で師直・与市兵衛・定九郎・おかる母・義平・本蔵・由良之助の七役を演じ大評判となりました。その翌年に山東京伝は「市川団蔵的中狂言」という角書を持つ『早業七人前』という黄表紙を出版しました。挿絵はその口絵で、稲叢から現れる定九郎が描いてあります(下図)。この時まで定九郎と与市兵衛を早替りで見せる演出は団蔵以外には浅尾工左衛門が寛政十年十一月に大坂藤川勝次郎座で演じた例があるのみで、江戸では二十年ぶりのことでした。団蔵はこの年江戸を去り、文化五年に大坂で没します。江戸では文化元年九月河

原崎座で尾上松助が、文化二年の河原崎座と文化四年九月中村座で市川男女蔵が、文化八年四月森田座と文化十一年四月中村座で市ノ川市蔵が、文化十一年五月森田座で片岡松助が早替りを演じ、これ以降も度々演じられています。

幸四郎が演じた定九郎は早替りではありません。しかし早替りの流行と稲叢から登場した方が役者が大きく見えるという理由から、現在の演出が幸四郎の定九郎あたりから定着してきたということが評判記の記述から辿れます。この他にも定九郎の演出の変遷には色々面白い問題があります。誰か卒業論文でも取り上げてみませんか。今年は五人の学生が評判記と取り組んでいます。読みにくいものですが、挑戦してみませんか。

図書館には最近購入した一枚摺の評判記など変わったものもあるのですが、その紹介はまたそのうちに。





戸田盛和著

「カオス——混沌のなかの法則」

岩波書店

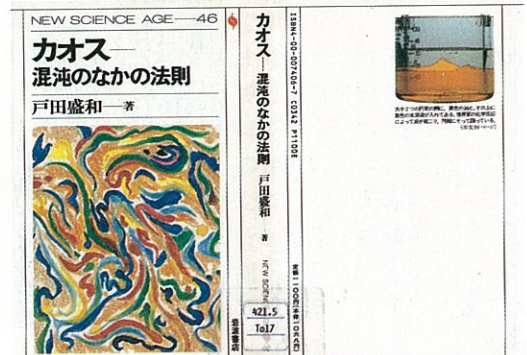
一般教育課程教授 久 武 和 夫

カオスとは、もともとギリシア語の *kháos* からきた言葉で、混沌という意味である。最近、自然現象にはカオスという無秩序な現象が多いことが気附かれ始めた。一方自然界には、非常に秩序だった現象がある。例えば、太陽、月、星の運動がそうで、日食、月食が何時、何處で起るかは秒の精度で予想できる。ニュートンは、このような天体の秩序だった運動にヒントを得て、万有引力の法則と力学の法則を発見した。その後発達した電磁気学の法則と組合せると、自然界のすべての現象は予想可能であると、多くの自然科学者は最近まで考えていた。

しかし現実には、身近な自然現象でその変化が予想できない場合がかなりあることも事実である。例えば天気予報がそうで、明日、明後日は何とか予想できても、3～4日後の天気予報はむしろ当たらないことが多い。一方物理学的に考えると、気象の変化は、水蒸気をふくんだ空気の運動に他ならないので、現在各地で測定された気圧、温度、湿度、風の動き等のデータを流体力学の式に代入すれば、数日後の気象は予想できる筈である。予報が当たらないのは、観測データの不足と、空気の運動を解くための電子計算機のスピードが不足しているためで、これらをもっと充実すれば、もっと正確に予報できる筈だと信じられていた。ところが1961年にアメリカの気象学者のローレンツという人が、計算機に入力する観測データの1つを1/1000だけ変えてみた。すると数日後の気象状態はまるで違ったものになってしまった。普通は「似た原因は似た結果を生じる」と考えられているが、気象の変化は、原因がほんの僅かただけで全然違った結果になってしまう。これがカオスの特徴であると、この本の著者は言っている。

この本によれば、身のまわりの現象は、カオス的現象の方がむしろ多く、従来の物理学で予

想できる現象は、天体の運動と実験室の中で条件が十分制御された物理現象だけだそうである。だから物理学を身近な日常現象の予想に役立たせるためには、今までにはない新しい考え方が必要であると主張している。著者は長年、カオスと密接な関係がある非線形現象の物理学で大きな業績をあげてきた国際的にも有名な方である。この本では、気象の他に、渦のある流れ、生態系の中の特定の生物の増減、カオス運動する振り子、火星と木星の間で複雑な運動する小惑星等をとりあげ、予備知識の全くない一般人に分るように、やさしく解説している。最後にあげた小惑星の運動は全く予想がつかず、時々地球に衝突するものがあり、隕石となる。大きな小惑星が地球に衝突すると、地球の温度が急激に下ると考えられている。1億年前にそのような衝突が起り、地球の温度が急激に下り、恐龍が死滅してしまったという説が有力である。何時このような衝突が起るかは今の所全く予想できないが、カオスの研究が進めば、ある程度予想できるかも知れない。その時はロケットを発射して小惑星の軌道を変え衝突を未然に防ぐことが可能である。



〔特集〕 図書館利用に関するアンケート結果報告

〔設問〕

(該当するものには○印をつけてください)

1. あなたは、図書館を週にどのくらい利用していますか。

- (1) 3回以上 (2) 1～2回 (3) ほとんど利用しない

2. あなたは、どのような時に図書館を利用しますか。(複数回答可)

- (1) 一般的読書 (2) レポート作成 (3) 試験準備 (学生のみ)
(4) 調査研究 (5) その他 ()

3. 蔵書についておたずねします。

- 1) 和図書 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
2) 洋図書 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
3) 和雑誌 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
4) 洋雑誌 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
5) AV資料 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
6) その他の資料について コメント ()

4. サービスについておたずねします。

- 1) 開館時間 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
2) 開館日数 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
3) 貸出冊数 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
4) 貸出期間 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()
5) 次のサービスを知っていますか。(複数回答可) (1) 予約 (2) 希望図書購入
(3) 他機関への文献複写依頼 (4) 他機関での閲覧利用 (5) 他機関からの図書借受
6) 図書館員の対応について 満足 まあ満足 普通 やや不満 不満 コメント ()

5. 資料の探し方についておたずねします。

- 1) 図書館資料をどのような方法で探していますか。(複数回答可)
(1) 目録(カード、冊子体)をひく (2) 直接書架へ行く (3) 教員に聞く(学生のみ)
(4) その他 ()
2) 探している資料が見つからない時、どのようにしていますか。(複数回答可)
(1) レファレンス係に尋ねる (2) 教員に聞く(学生のみ) (3) あきらめる
(4) その他 ()

6. 施設について望むことをお書き下さい。 ()

7. 今後の図書館に望むことをお書き下さい。 ()

1 調査概要

実施者 実践女子大学図書館
実践女子短期大学図書館

1) 調査の目的

図書館が機械化等によって変化しようとするとき、利用者が図書館をどのように利用、評価し、何を望んでいるかを知ることにより、自己点検の一助としたい。さらに、この調査結果を今後の図書館サービスに反映させて、より充実をはかっていくことが目的である。

2) 調査方法

質問紙法（アンケート）による調査。学生は当日の館内利用者、教員は各研究室に配布。

3) 調査時期

平成4年7月13日

4) 調査対象

	配布数	回収数	回収率
大学院	47	21	45%
大学	500	322	64%
短大	300	165	55%
小計	847	508	60%
教員	143	74	52%
合計	990	582	59%

5) 調査内容

構成

- A 図書館利用について 1、2
- B 資料の探し方について 5
- C 蔵書（資料）について 3
- D サービスについて 4
- E 施設について（コメント）6
- F 今後の図書館に望むこと（コメント）

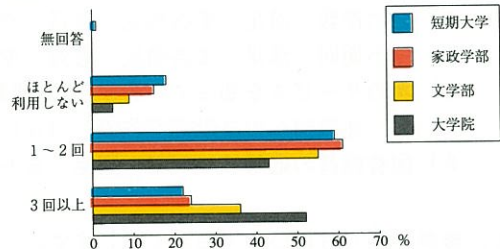
2 調査結果（学生）

A 図書館利用について

1. 週に図書館をどのくらい利用しているか。（図1）

3回以上利用するが全体の30%、1-2回が60%、10%の学生がほとんど利用しないという結果であった。

図1



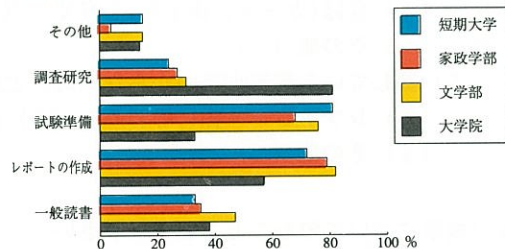
2. どのような時、図書館を利用するか。（図2）（複数回答）

各学部・短大ともレポート作成、試験準備での利用という回答が多く、調査研究を行うために利用するが意外に少ない。

その他の中には、ひまつぶし、涼みにくる、静かだから利用するという回答もあった。

大学院は調査研究が最も多い。

図2



B 資料の探し方について

1 資料をどのような方法で探しているか。

(図3) (複数回答)

大学院を除いた学部・短大とも**直接書架にゆく**という回答数(77%)が**目録をひく**という回答数(58%)を上まわった。

2 探している資料が見つからない時、どのようにしているか。(図4) (複数回答)

予想以上に**あきらめる**という回答が多く図書館にとってはかなり厳しい調査結果となった。B-1、2の結果から図書館は利用指導、利用者教育を積極的に行うことが重要ではないかと思われる。

図3

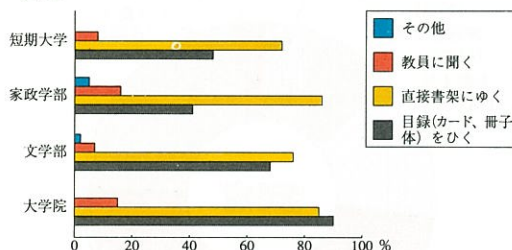
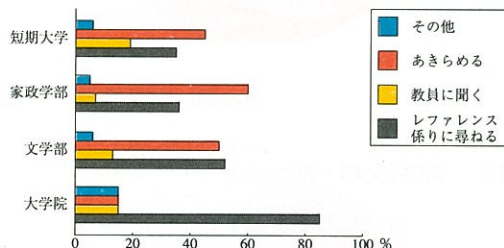


図4



C 蔵書について

(図5~10)

図書館の蔵書について質・量問わず、学生がどのように感じているか満足度で回答してもらった。

和・洋書、和・洋雑誌とも回答のバラつきはない。A V資料に関しては、設備面の回答が多く見受けられたが全般的に大学図書館のPR不足。大学図書館と短大図書館との設備の違いがこのような回答結果となったのではないかと思われる。

※蔵書について学生のコメント

和図書 まあ満足 新しい書籍もはいつてきて
いるんで驚いています。
(短国2年)

普通 国文・英文学以外の本を増
やして欲しい(英文3年)

不満 気軽に読めるような小説の
類が少ない(被服3年)

不満 卒論のテーマにする作家を
決めようと、いろいろな作
家の本を読もうとしても、
研究書ばかりで、肝心の作
家自身の書いた作品が少な

すぎる。(国文2年)

洋図書 やや不満 一般的な読み物をもう少し
増やしてほしい(短生2年)

和雑誌 まあ満足 大学紀要や雑誌はかなりそ
ろっていると思う(国文4
年)

不満 美術関係増やしてほしい
(美学2年)

A V資料 満足 卒論で最近よくつかわせて
いただいております。たす
かってます(国文4年)

不満 大学にも短大のような設備
を作って欲しい(国文4年)

不満 どこにあるのかわからない
(食物4年)

その他 自然科学に関する図書がす
くない(食物4年)

全体的に専門書がかなり少
ない。また実践にない学部
の本が、ほとんどないのは
不便だ(被服4年)

誰も借りない本が多すぎると
思う(英文3年)

図5 洋書(大学・短大共)

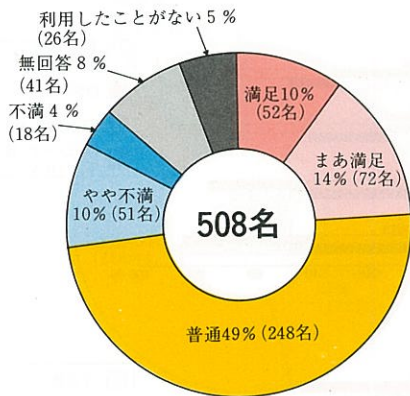


図8 和雑誌(大学・短大共)

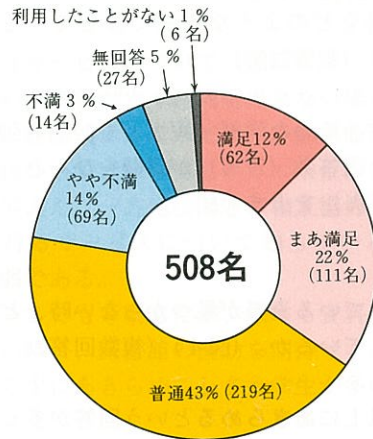


図6 和書(大学・短大共)

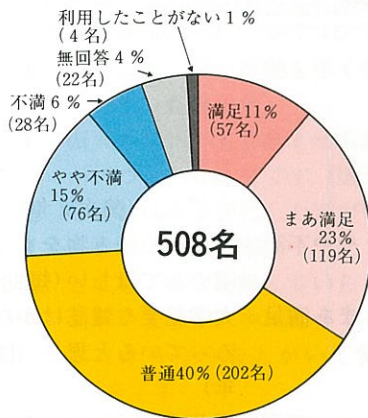


図9 A V資料(大学図書館)

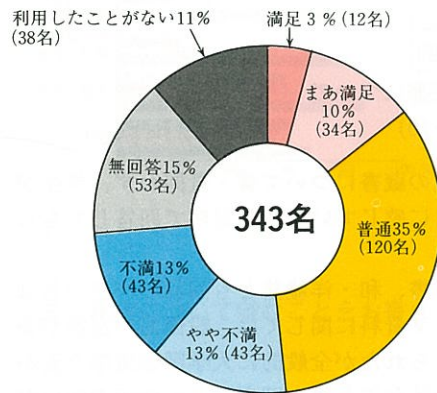


図7 洋雑誌(大学・短大共)

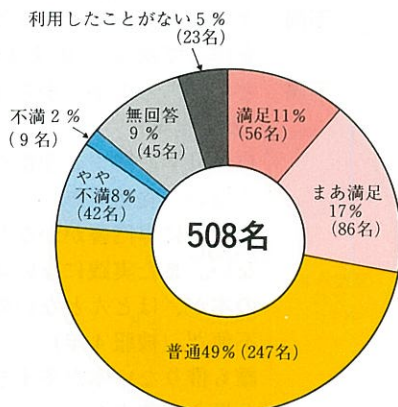
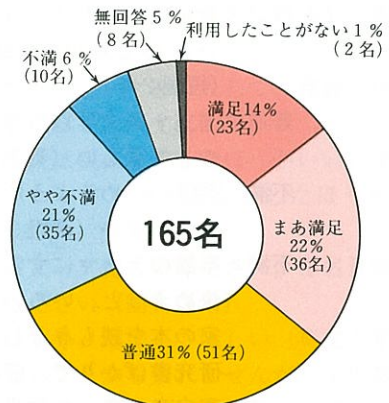


図10 A V資料(短期大学)



D サービスについて

1 開館時間・日数 (図11~14)

大学・短大図書館とも75%ちかくの学生が普通以上満足と答えている。また、図11、12、13でみられるように、やや不満、不満という回答が20%以上をしめているのも見逃せない。

そこで不満、やや不満と答えた人たちのコメントを分析、要約すると次の4点になる。

- (1) 開館時間の延長 (開館を授業開始よりも早く、閉館時間を最終授業終了よりも遅くしてほしい)
- (2) 試験期間中の時間延長
- (3) 日曜・休日の開館
- (4) 長期休暇中の開館日数増加

図11 開館時間 (大学)

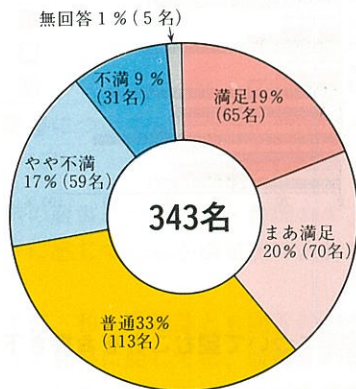


図12 開館時間 (短大)

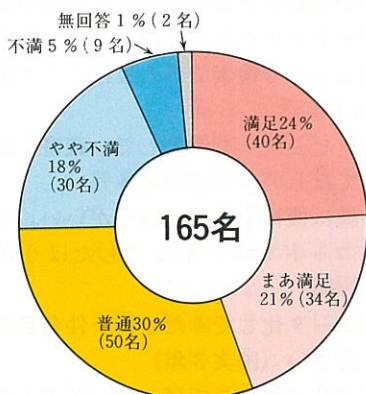


図13 開館日数 (大学)

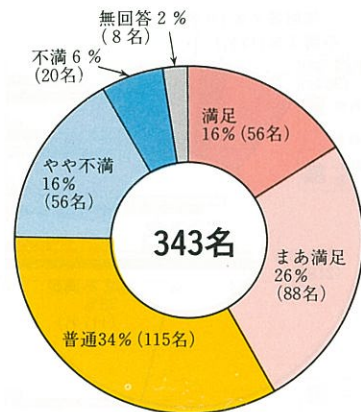
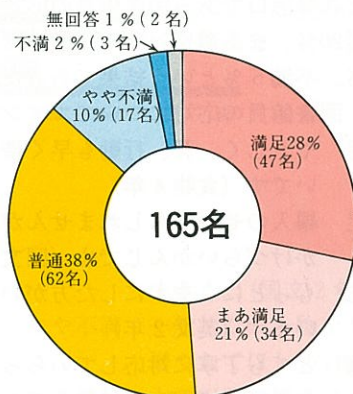


図14 開館日数 (短大)



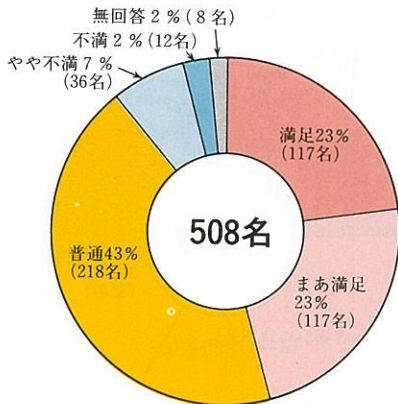
2 貸出冊数 (図15)

貸出冊数について満足度を聞いた。9割近くの学生が、現状の貸出冊数 (図書5冊、雑誌2冊) を多くもなく少なくもないと感じていると思われる結果がでた。

以下、貸出冊数について学生のコメントをならべてみる。

- まあ満足 雑誌があと1冊多いといいなと思うことがある (食物1年)
- やや不満 7-8冊ぐらい貸し出してほしい (食物2年)
- やや不満 雑誌の冊数を増やして欲しい (食物3年)
- やや不満 普段はいいけど、長期休暇のときふやしてください (美学2年)
- 不満 一人十冊まで (美学2年)

図15 貸出冊数（大学・短大共）



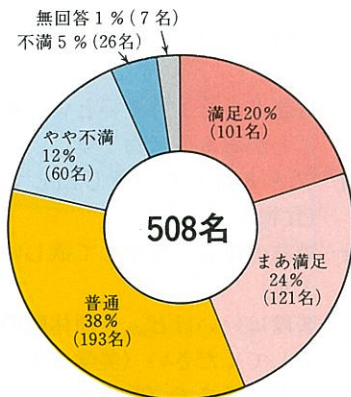
3 図書館員の対応について（図16）

サービスの窓口である図書館員の対応について。満足20%、まあ満足24%、普通30%、やや不満12%、不満5%という結果であった。

以下、図書館員の対応についてコメント

- 満足 やさしく、又、行動も早く借りやすいです（食物4年）
- まあ満足 編入のせいかもしれませんが、声をかけづらいかんじです（国文3年）
- 普通 もっとにこやかにした方がいいと思います（英文2年）
- やや不満 とても丁寧に対応していらっしゃる人もいますが、中にはとても冷たくぶっきらぼうな人がいて怖いです（国文4年）
- やや不満 無愛想な気がする（被服4年）
- 不満 はじめてでわからない時、聞いても態度がつめたかった（食物1年）

図16 図書館員の対応（大学・短大共）



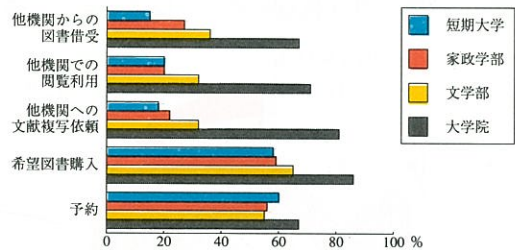
▽ 不満 期間延滞で文句をいわれた。細かいことによるさすぎる（国文1年）

4 各サービスについて（図17）

求める資料がすぐに利用出来ない場合、館内でそれを解決するサービス（予約、希望図書購入）については、60%ちかくの学生が知っていると答えた。一方他機関との相互協力により資料を得るサービスについて知っている学生は30%弱である。

B-2でも考察したが、求める資料が見つからない時に、図書館の援助を期待せず、あるいは知らずにあきらめてしまう学生が多いことがわかった。

図17 次のサービスを知っていますか



E 施設について望むことをお書き下さい。

大学

- ◎A V施設を作ってほしい（英文2年）
- ◎A V視聴室を設けてほしい（生文2年）
- ◎A V資料の充実（英文2年）
- ◎ビデオが鑑賞できるようにしてほしい。また、レーザーディスクなどもほしい（食物1年）
- ◎コンピュータで検索できるようにしてほしい（美学3年）
- ◎早くコンピュータを導入して、蔵書を探しやすくしてほしい（文修1年）
- ◎貸出手続は機械を使ったほうがいい。学生証にバーコードをつけるなどしたほうがいい（文修2年）
- ◎コンピュータ化してください。件名目録をいれてください（国文3年）
- ◎机やいす等、増加してほしい（英文1年）
- ◎仕方ないことかも知れませんが、学生数の割には座席数が少ないように思う（美学3年）

- ◎試験近くになると席が足りなくなるので、もう少しふやしてほしい(被服4年)
- ◎すこし手元が暗いような気がします。机の電気(国文4年)
- ◎もうすこし明るくしてほしい(食物1年)
- ◎机に向かってノートをとる時に、時々暗く感じるがあります(食物1年)
- ◎時々、クーラーがききすぎていることがあるので、適当に調整してほしい(国文3年)
- ◎コピー機をふやしてほしい(食物4年)

短大

- ◎とてもきれいで満足です(国文1年)
- ◎もう少し広くしてほしい(生文2年)
- ◎バーコードなどを取り入れてもっと手軽に借りられるようにしてほしい。テーブルにしきりをつけてほしい(生文2年)
- ◎個々の机の間にしきりみたいなものがあるといいなあとおもいます(国文1年)
- ◎テーブルにしきりがほしい。私語が多くて集中できないので(生文2年)
- ◎コピー機をふやしてほしい(国文2年)
- ◎カラーコピー機をできるようにしてほしい(国文1年)
- ◎AVブースをふやしてほしい(英文1年)

F 今後の図書館に望むことをお書き下さい。

大学

- ◎4-5の内容は知っているが、実際どのように利用できるかわからないので、その点の説明がほしい(美学3年)
- ◎コンピュータで検索できるようにしてもらいたい。ex.単語を入れるとそれに関する文献がわかるような(被服4年)
- ◎コンピュータ化してほしい。資料を探す時に、大変便利になると思う。高校の図書館はバーコードだったので、大学に来て驚きました(食

物2年)

- ◎開館時間の延長と日数を至急なんとかしてほしい(食物2年)
- ◎開館時間を長く(美学4年)
- ◎もっと普通の小説をふやしいほしい(美学2年)
- ◎もっと文庫や新書をどんどん入荷すべき。貸出はどこでもやってるようなコンピュータを導入すべきだと思う(国文2年)
- ◎専門書は多いようだが、新書や一般書がとても少なく感じる(本屋で読みたいナと思ってた本が置いてないことが多い)ので、それらの本をもっと購入してほしい。処分する本や雑誌はほしい人に譲ってもらえるのでしょうか?(国文1年)
- ◎短大の目録も置いてほしいです(文修1年)
- ◎短大図書館と大学図書館の相互利用をもっともっと便宜を図ってほしい。大学図書館で、短大図書館が何を持っているのか分かるようにして、そして、どちらの図書館の本も、どちらでも返却できるようにしてもらえれば、大変助かります(文修1年)

短大

- ◎電気が暗いので、明るく照明をふやしてほしいです(国文1年)
- ◎文庫をふやしてほしい(国文2年)
- ◎CDなどもっとふやしてほしい(国文1年)
- ◎食物関係の本をふやしてほしい(生文2年)
- ◎AV資料の館外貸出の本数をもっとふやしいほしい(生文1年)
- ◎できたらもうすこし開館時間が伸びるといいと思います(30分~1時間)(国文2年)
- ◎テスト期間などは日曜日でも開館してもらえたらと思います(生文2年)
- ◎目録カードが探しにくいのでもう少し分かりやすくしてほしい。無理にアルファベットにしなくてもいいのではないか(国文2年)

3 調査結果(教員コメント)

設問6. 施設について望むことをお書き下さい。

短大教員

- ◎今後、永い将来のことを考え利用しやすい機

能的に有効な施設を考えるべきであるとおもいます。

◎大変よいと思う。

◎目録をパソコン等で検索できるようにしてほ

しい。

- ◎検索の機械化（研究室にて端末によって検索できること）
- ◎もし拡張できるものなら、教員用個室を、あるいは書庫内にキャレルの設置を。
- ◎蔵書の増加に対する対処。
- ◎貸出できるAVソフトをふやしてほしい。
- ◎洋図書をふやしてほしい（特に新しいもの）
- ◎無理でしょうが、もうすこしスペースがほしい。
- ◎四大の目録が短大に、短大の目録が四大にあったら良いと思う。
- ◎資料検索はコンピュータ化してほしい。区市図書館は殆どコンピュータ化されている。カード検索は時間がかかりすぎる。

大学教員

- ◎AVライブラリーを短大のように作って欲しい。
- ◎AV機器をもっと入れて、図書館内で視聴できるようにしてほしい。教員用だけでは足りない。5人ぐらいで作業しながら、読み合わせができるような部屋を作ってはどうだろう。そのままではうるさいし、食堂ではむずかしい。
- ◎カラーコピーの設置。
- ◎カラーコピー設置。
- ◎これは希望ではなく、現状への讚美です。他大学の図書館に比べても、落ち着いたすばらしい環境だと思う。大学の本館の中に図書館があるのも非常にありがたい。
- ◎とてもよい施設ですが、集密書架だけは頂けませんね。やむを得ないとは思いますが……
- ◎ビデオ収録の希望によって講義用資料として使えるテープの作成等が行われると便利。
- ◎もう少しあかるい室内の方がいいと思います。少し照明が暗いのではないのでしょうか。
- ◎閲覧席の拡張。
- ◎拡充を望む。
- ◎館内の案内が、少々不備かと思えます。
- ◎教員用コピーにおける事務手続きの簡略化は望めませんか？
- ◎集密書架に入っている書籍を検索できるようにしておいて欲しい。自分で探すのに、迷うばかりか、学生に指示することもできない。
- ◎集密書架をもう少し利用しやすくしてほしい。

どこに何があるのかよくわからない。

- ◎照明がもう少しあると良いのではと思います。
- ◎身体不自由学生が、今後入学してきた場合への配慮が至急必要であると考え。
- ◎図書の貸出しに際し、名前を記入することは問題ないでしょうか。プライバシーの点からかなりの不満を耳にしております。図書館のお考えをお聞かせいただきたく思います。
- ◎席を増やせるなら増やして欲しい。
- ◎他機関の資料を自由にコンピュータ検索できるようにしてほしい。雑誌類のところの閲覧コーナーの上がガラス張りのため、午後は机に光が反射して、とても苦痛なのですが……
- ◎短大のようにAVブースがあればいいと思う。
- ◎短大のように映画のビデオが見られたらうれしいです。スライド複写台が本のすぐ横にあって、良い資料をすぐに複写できればと思いますが……
- ◎文献検索システム。

設問7. 今後の図書館に望むことをお書きください。

短大教員

- ◎他大学や研究機関の研究資料を、数多く揃えていただければと希望致します。
- ◎教員と図書館員の合同会議を持てたらよいなと思う。
- ◎決定事項は館報などでしっかり伝えること。
- ◎蔵書、資料の充実、検索の充実をのぞむ。
- ◎短大に居りますと、どうしても本館へいくことをしぶります。これは図書館だけの問題ではないのですが、文系の学科を一つのキャンパスにまとめる（大・短大まとめて）のが解決の方法でしょう。蔵書の重複等の経費削減にもなるはずです。
- ◎図書館員の数があまりにも少なすぎるのではないのでしょうか。多ければそれなりのサービスもしていただけるのと思います。（他大学との図書館員との比較はなさっておられると思いますが、未だでしたら是非）
- ◎短大では大学まで行って文献を調べなければならぬので、時間がなくて苦労している。
- ◎記念事業のような形式で大学・短大の蔵書のDB化とPC検索システム。大学まで行くのは面倒なので。

- ◎洋雑誌、本当に利用されているものだけに限ること。AV、CD、LD資料の充実。
- ◎専門書、研究書を沢山入れてください。洋書(文学)も沢山入れてください。
- ◎まず、このアンケートを実施された勇氣に敬意をあらわします。自己点検の先駆です。前から疑問に思っていたのですが、新カリキュラムの中に、何故図書館の果たす役割が入っていなかったか、不思議です。図書館は日々の授業と密接につながりをもってこそ生きるものと思います。これは教員の怠慢によるのでしょうか、図書館がカリキュラムの中に、全く生かされていません。教員は教員で、図書館は図書館でバラバラ勝手に仕事をしています。有機的な結びつきがありません。提案としては年に1、2回図書館側と教員とが会合して問題点を話し合うこと。是非実現してほしい。

大学教員

- ◎JBISCを入れて簡単に検索し、参考文献リストが作れるようにしてほしい。また、蔵書もパソコンで検索できるようにしてほしい。(カードでは件名だけでは引けないし、一人その場にいるとできない)美術のカタログなどは、展覧会が巡回するため、なかなか寄贈してもらえない。いくつかの館とは契約して購入していくようにしてもらいたい。
- ◎コンピュータ導入により、事項で検索出来る範囲を広げて欲しい。
- ◎できるだけ開架式の方が調べやすいが、古い蔵書のスペースはこれ以上縮まらないのですか。
- ◎パソコンによる検索ができること。また、パソコンで、その資料の要点・目次などがわかること。資料展などが多く開かれること。貸出しがカード式だとプライバシーが守れないと思う。
- ◎パソコンを利用して、本の検索ができると思います。
- ◎学科のコピー機でコピーをとるために、短時間の雑誌の持ち出しを認めて欲しい。
- ◎学術情報センター等と早急にオンライン化して、実践の図書館からも他の機関に所蔵されている図書等の情報を容易に得られるようにして欲しい。蔵書については(和綴書・特殊文庫も含めて)早くカード化して欲しい。
- ◎機械化の促進。
- ◎研究図書館としての性格を帯びてくる局面があります。将来への展望を見据えて企画を立ててください。
- ◎資料検索法の確立。コンピュータ化を早め実現する。開架の整備(開架の利点をうまく生きるよう、数箇所に分散させない)。資料館サービスへの参加を1日も早く。
- ◎資料等のパソコン処理化をお願いします
- ◎自然科学系、特に有機・高分子科学系の雑誌・図書の強化等。
- ◎春・夏の休暇期間、閉鎖期間をもう少し短くしていただけませんか。
- ◎将来にわたって蔵書の増大に対応でき、保存もできるように努力して欲しい。保存のための別施設も作られるようであっても良いかもしれない。
- ◎席とりを失くさせる。試験期間中、席が空いているのに勉強できない学生がいる。何か良い方法があると良い。こちらの探し方も悪いが、本を見つけにくい。
- ◎専門書の充実。とくに美々の欲しい。
- ◎地下に入れた古い図書をもう少し気軽に利用できるような工夫して欲しい。
- ◎文献検索サービスが出来ると良い。
- ◎本の置き場所(分類による)が、バラバラになっていることがあり(これは使い方のマナーが悪い、と言うほうが大きな原因かもしれませんが……)、資料を探しにくいことがあります。返却場所(館内で読んで、各自が戻す場合の)を間違えないような良い方法はないでしょうか?
- ◎利用者のマナーの低下が目立つような気がします。本を大事に扱うように訴える方法はないのでしょうか。

* コメントについて

コメントは全て原文のまま掲載した。学生については代表的なものを、教員については全コメントを載せた。

❀❀❀ いんふお-め-しょん ❀❀❀

1992年12月～1993年3月

大学図書館

特別貸出

冬休み

期間：12/14(月)～1/8(金)

返却日：1/14(木)

冊数：図書 5冊

春休み

期間：2/1(月)～3/26(金)

返却日：4/9(金) ※卒業予定者3/19(金)

冊数：図書 5冊

冬休み中の開館

開館日 12/21(月), 24(木), 25(金)

1/6(水)～8(金)

時間 9:00～16:00

試験期の開館

1/11(月)～2/2(火) 開館時間延長

月～金 9:00～18:45 土 9:00～16:00

試験期の貸出

1/11(月)～1/16(土) 3日間貸出

1/18(月)～1/30(土) 1日貸出

試験終了後の開館時間

2月 2/3(水)～5(金) 9:00～18:00

※2/6(土)～11(木) 入試のため閉館

2/12(金)～20(土) 9:00～16:00

※以後蔵書点検のため閉館

3月 3/15(月)～26(金) 9:00～16:00

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

~~~~~  
故小倉卓名誉教授の旧蔵書洋書約四千冊が、ご子息小倉貢教授から大学図書館へ寄贈されました。Beadsley のデザインに依る Keynotes series など世紀末文学関係の貴重な資料です。

### 編集後記

~~~~~  
今回の特集は、利用者のニーズを知りサービスの向上を計るために、また自己点検の意味でも必要な企画であった。これに当たり、企画か

短期大学図書館

特別貸出

冬休み

期間：12/14(月)～25(金)

返却日：1/14(木)

冊数：図書 5冊

※雑誌/カセットテープ/ビデオは19(土)～

春休み

期間：2/1(月)～3/19(金)

返却日：4/9(金) ※卒業予定者 3/19(金)

冊数：図書 5冊

冬休み中の開館

開館日 12/21(月), 22(火), 24(木), 25(金)

時間 9:00～16:00

試験期の開館

1/11(月)～29(金) 開館時間延長

月～金 9:00～17:45 (2/1,2は17:00)

土 9:00～16:00

試験期の貸出

1/11(月)～16(土) 3日間貸出

1/18(月)～30(土) 1日貸出

試験終了後の開館

2月 3(水)～5(金)

以後、入試・蔵書点検のため閉館

3月 15(月)～19(金)

時間 9:00～16:15

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

~~~~~  
らデータ集計、結果報告に至るまで上原、石川の両委員が中心となりまとめ上げた。労多し。

### Library Mate 第9号 1992年12月

発行所 実践女子大学図書館

東京都日野市大坂上4-1-1

実践女子短期大学図書館

東京都日野市神明1-13-1

発行責任者 三隅治雄